

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 512 事業名 交通安全対策事業

[事業基本情報]

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	3	地域安全の推進
施策	1	交通安全対策の推進
基本方針	1	市民の交通安全意識の普及啓発

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他	○		
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		地域安全費	
	大事業		地域安全策事業	
	事項		交通安全対策事業	

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	第9次和歌山市交通安全計画		
担当課・担当課長 (Tel)	地域安全課	小西 良則 (435-1005)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容					
市民を交通事故から守るために、交通安全教室や広報活動等の啓発を行い、また各種交通安全関係団体の育成・補助・指導を行う。	保育所(園)・幼稚園への幼児交通安全教室の実施や、和歌山市交通事故防止市民運動推進協議会の事務局として、交通指導員連絡協議会・交通安全母の会連絡協議会等の交通安全関係団体と連携し、全国交通安全運動や交通安全県民運動への参加協力。					
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	幼児を交通事故から守るため、市内幼稚園、保育所を対象に交通安全教室を開催する。市民に対し、交通安全意識の高揚を図るよう広報活動等の啓発を行う。各種交通安全関係団体の育成・補助・指導を行う。	幼児を交通事故から守るため、市内幼稚園、保育所を対象に交通安全教室を開催する。市民に対し、交通安全意識の高揚を図るよう広報活動等の啓発を行う。各種交通安全関係団体の育成・補助・指導を行う。	幼児を交通事故から守るため、市内幼稚園、保育所を対象に交通安全教室を開催する。市民に対し、交通安全意識の高揚を図るよう広報活動等の啓発を行う。各種交通安全関係団体の育成・補助・指導を行う。	幼児を交通事故から守るため、市内幼稚園、保育所を対象に交通安全教室を開催する。市民に対し、交通安全意識の高揚を図るよう広報活動等の啓発を行う。各種交通安全関係団体の育成・補助・指導を行う。	幼児を交通事故から守るため、市内幼稚園、保育所を対象に交通安全教室を開催する。市民に対し、交通安全意識の高揚を図るよう広報活動等の啓発を行う。各種交通安全関係団体の育成・補助・指導を行う。	幼児を交通事故から守るため、市内幼稚園、保育所を対象に交通安全教室を開催する。市民に対し、交通安全意識の高揚を図るよう広報活動等の啓発を行う。各種交通安全関係団体の育成・補助・指導を行う。

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	6,786	6,649	6,793		6,793		6,793		6,793		
	伸び率 (%)	-		0.1%		0.0%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	18,349	27,554	27,554		27,554		27,554		27,554	
		非常勤職員	782	1,259	1,259		1,259		1,259		1,259	
		小計	19,131	28,813	28,813		28,813		28,813		28,813	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他												
一般財源(税等)	6,786	6,649	6,793		6,793		6,793		6,793			
所要人数	常勤職員	2.39	3.63	3.63		3.63		3.63		3.63		
	非常勤職員	0.54	0.85	0.85		0.85		0.85		0.85		
主な予算内訳		負担金、補助及び交付金 5,759千円 自動車借上料 441千円 駐車場使用料 209千円 等										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	幼児交通安全教室の開催回数				年度目標値	70	70	70	70
					実績値	72			
	単位	回	全体目標値	70	全体目標達成度	102.8%	年度別達成度	102.8%	
					年度目標値				
					実績値				
成果指標	交通事故発生件数(1月～12月総計)				年度目標値	2,000	2,000		
					実績値	2,023			
	単位	件	全体目標値	-	全体目標達成度	-	年度別達成度		
					年度目標値	17人以下	17人以下		
					実績値	17			
	単位	人	全体目標値	-	全体目標達成度	-	年度別達成度		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	交通安全教育が道路交通の安全を確保するための重要な手段であり、達成目標等を十分に把握した上で、現状の交通安全教育を実施することが必要である。
「見直し」 「改善」案	<p>幼児教室については、平成25年より案内だけでなく開催希望日記入の申込書に変え、市内すべての保育所(園)・幼稚園に送付したことにより、開催件数を増すことができた。</p> <p>また、現在和歌山市交通事故防止市民運動推進協議会において、事務局と各種団体が協力して、幼児から高齢者まで幅広く交通安全教室や啓発運動を行っています。未就園児や保護者にも交通安全教育に参加してもらえる場をつくる。</p>